

乙種ノ通氣床構造ハ割合 安價ノ方法ニシテ假粹ヲ取外ツシ再三之ヲ使用スル様ニシタリ
即チ天井鑄條ノ兩端ヲ支持スル釣鏡ハ鋼鑄梁ヲ跨カリタルト鑄條ハ一端ノボートヲ蝶番ト
シテ他端ノボートヲ外ツシテ隨意ニ動カシ得ルヲ以テ假粹ノ支持ト取外シトニ毫モ差支ナ
キトヲ以テ甲種ト相異ナル要點トス

丙種固塊床ノ普通ノ耐火床ト異ナル點ハ鑄鋼木舞ヲ以テ直チニコンタリトノ粹トナスニ
アリ即チ鍊鋼ハコンタリトト漆喰ト兩者ヲ繋着セシムルノ效アリ大火ノ際鋼鑄梁ニ膨脹
ヲ生シ爲メニコンタリトト龜裂スルニ至ルモ鍊鋼ハ之ヲ支持シテ墜落スルニ至ラシメス
○北米合衆國水道ノ築造 千八百八十七年一月ノ調査ニ依レハ北米合衆國ニ於ケル水道
ノ築造セラレタルモノ千四百二箇所ニシテ其發達ノ年紀左ノ如シ

自千八百 一年至千八百 十年 一三箇所 自千八百十一年至千八百二十年 五箇所

自千八百二十一年至千八百三十年 一四 自 三十一年至 四十年 一三

自 四十一年至 五十年 二六 自 五十一年至 六十年 五二

自 六十一年至 七十年 七九 自 七十一年至 八十年 三五四

自 八十一年至 八十六年 六二三 (備考以上ノ外凡ソ二百箇所ハ起工年月不明

右ノ内五百四十個所ハ市町村ノ公有ニ屬シ五百四十四個所ハ私立會社ノ所屬ニシテ百八十
三ヶ所ハ所屬未詳ナリ

○露西亞鐵道ノ延長 露西亞ニ於テ昨年十一月マテニ敷設ヲ了セル鐵道ノ總延長ハ三万
四千六百四「ウエルスト」(「ウエルスト」ハ「九丁四十六間余」)ニノ内三万五千五百五十「ウエルスト」ハ遞信省ノ管理ニ屬

シ千三百四十三「ウエルスト」ハ陸軍省ノ管理ニ屬シ二千百三「ウエルスト」ハ芬蘭大公國ニ屬スルモノナリ又工事ヲ終ラサル鐵道線路ノ總延長ハ七千五百九十五「ウエルスト」ニシテ内國費ヲ以テ敷設セラレハモノハ四千二百八十「ウエルスト」鐵道會社ノ費用ヲ以テシタモノハ四千二百八十「ウエルスト」ナリ而シテ西伯里鐵道ノミニ關スル景況ハ該工事ニ關スル最近公報ノ表示ニ據レハ該線路ノ内千五百十八「キロメートル」ハ已ニ鐵軌ノ敷設ヲ結了シ且該線路ノ全長ニ對スル殆ント一半ハ又必要ノ工事ヲ落成セリ（獨逸アルゲマイネツアイツング官報）

○電氣應用試驗

北米合衆國政府ハ大砲ノ發射及砲塔ノ廻轉ニ電氣ヲ應用スルノ得失ヲ查覈センカタメ數艘ノ軍艦ニ於テ同時ニ其試驗ヲ執行セシメタリシカ此試驗ハ電氣機械ヲ以テ全ク蒸氣機械ニ代ヘンカタメニ設ケタルモノニアラス單ニ蒸氣ノ欠乏セル場合ニ於テ電氣ヲ代用セントノ目的ニ出タルモノニシテ海軍省ノ期スル所ハ軍艦ニ於テ蒸氣運轉機ノ補助トシテ電氣ヲ應用スルニアリタレモ實際試驗シタル所ニテハ傳達力トシテ電氣ノ蒸氣ニ優ルコト明亮トナレリ且電氣機械ハ蒸氣機械ニ比シテ場所ヲ占ムルコト甚僅少ナレハ此點ニ於テモ大ニ便利ナルノミナラス針線ノ導電体ニ由ル事トテ一切ノ障礙ヲ排除スルコトヲ得レハ唯此一事ヲ以テスルモ其大ニ蒸氣機械ニ優ル所アルハ爭フヘカラス況ヤ電氣ノ傳導体ハ鑄鐵ノ管ニ比スレハ細小ニシテ敵火ヲ受クルコトモ自然少キ道理ナレハ殊ニ海戰ノ場合ニ於テ甚タ便利ナルヘキヲヤ（露國官報ノ陸海軍雜誌ヨリ摘録セルモノ）（以上三件丁、丑）

○室内照光法 室内照光法ニ關シ内壁及ヒ天井ヲシテ能ク光線ヲ反射スベカラシメバ光線ノ量ヲ増加セシムル大ナリ譬ヘバドクトルズムノトネル氏ノ試驗ニ因ルニ同一ノ光源ヲ